

第14回 霞が関ビル 東京藝大プロデュース



ウィーン音楽の楽しみ

日時: 2013年12月9日(月)
18:00~19:00

場所: 1階・プラザホール



佐々木典子



横田 揺子



生田 絵美



菅谷 早葉



阪本奈津子



田中 洪至

演奏曲(予定)

ヨハン・シュトラウス I	サロン ポルカ op.161
ヨセフ・ランナー	ワルツ 求婚者 op.103
ヨーゼフ・シュランメル	ヴィンドボーナ オーストリアの真珠
ヨハン・シュランメル	ワルツ あけすけなおしゃべり
ヨハン・シュランメル	辻馬車のギャロップ
ヨハン・シュトラウス II	ワルツ 南国のぼら
ロベルト・シュトルツ	オペレッタ 白馬亭 より

今回ご出演の佐々木典子さんは、文化庁のインタビューにもお答えいただいております。是非一度ご覧ください。URL: http://www.bunka.go.jp/publish/bunkachou_geppou/2013_11/index.html

★その他コンサートの予定★

- ・2013年12月5日(木)18:30~ クリスマスコーラス
- ・2014年1月20日(月)18:00~ 新春・日本の音

※詳細は、館内の告知物、HPおよびチラシをご参照ください。



当日、中央共同募金会の募金箱を設置し、
東日本大震災義援金を募集いたします。

三井不動産株式会社
三井不動産ビルマネジメント株式会社

WORKERS FIRST

～出演者プロフィール～

佐々木典子 (Soprano)



武蔵野音楽大学卒業後、ザルツブルクのモーツァルテウム芸術大学オペラ科を首席で修了。その後、ウィーン国立歌劇場オペラ研修所を経て、同歌劇場にソリストとして本契約する。ウィーン国立歌劇日本公演、夏期並びに復活祭のザルツブルク音楽祭のオペラ公演に出演。帰国後は、二期会、数々の団体で、主役には不可欠な存在としてその地位を確立。また特に、R・シュトラウスの作品は、重要な位置をしめ、音楽性と表現力は、世界的巨匠をはじめとする共演者からも常に尊敬と信頼の対象とされている。CDオールR・シュトラウスのプログラム「四つの最後の歌」。熊本市女性賞、第2回ホテルオークラ音楽賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授。二期会会員。

横田揺子 (Clarinet)



東京藝術大学音楽学部、ミュンヘン音楽大学、バーゼル市立音楽院卒業。1997年ヤマハ新人演奏会出演。2005年東京文化会館にて日本演奏連盟・文化庁主催のソロリサイタル開催。在独中より室内楽に重点をおき、2007年には東京、沖縄で室内楽リサイタル開催。トリオダンシユSUAVEを主宰、オーストラリア、ドイツ、韓国、日本で活動中。古楽器演奏にも携わる。一般社団法人日本クラリネット協会理事、東京藝術大学教育研究助手。

生田 絵美 (Violin)



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程（弦楽四重奏専攻）修了。96年学内にて安宅賞受賞。在学中に結成したクアルテット・アルモニコで、第4回シューベルト国際コンクール優勝、併せて20世紀作品 最優秀演奏賞受賞のほか、第8回ロンドン国際弦楽四重奏コンクール第2位、ハイドン国際室内楽コンクール最高位入賞。伊藤謝恩育英財団、松尾学術振興財団、文化庁等の奨学金を受け、ウィーン国立音楽大学大学院にて研鑽を積む。これまでに、田丸尚子、東儀幸、矢嶋佳子、大谷康子、浦川宜也、ゲルハルト・ボッセ、岡山潔、ヨハネス・マイスルの各氏に師事。

菅谷早葉 (Violin)



東京藝術大学を経て同大学院修士課程室内楽科（弦楽四重奏専攻）修了。日本室内楽コンクール（ピアノとのデュオ）第2位入賞。東京藝術大学同声会主催による卒業演奏会出演。在学中に結成したクアルテット・アルモニコで、第4回シューベルト国際コンクール優勝、併せて20世紀作品最優秀演奏賞受賞のほか、第8回ロンドン国際弦楽四重奏コンクール第2位、ハイドン国際室内楽コンクール最高位入賞。伊藤謝恩育英財団、松尾学術振興財団、文化庁等の奨学金を受け、ウィーン国立音楽大学大学院にて研鑽を積む。これまで鈴木英男、鈴木愛子、澤和樹、沼田園子、岡山潔、ヨハネス・マイスルの各氏に師事。

阪本奈津子 (Viola)



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て修士課程 室内楽科（弦楽四重奏専攻）修了。同声会主催卒業演奏会出演。在学中クアルテットアルモニコを結成。98年 第6回カールクリングラー国際コンクール特別賞、2000年第8回ロンドン国際弦楽四重奏コンクール第2位、第4回シューベルト国際コンクール優勝、併せて20世紀作品最優秀演奏賞を受賞、2004年第2回ハイドン国際室内楽コンクール最高位。文化庁等の奨学金を受けて、ウィーン国立音楽大学大学院にて研鑽を積む。これまで苅田智子、梅原ひまり、沼田園子、澤和樹、岡山潔、ヨハネス・マイスル、ヘルベルト・ケーファーの各氏に師事。

田中 洪至 (Contrabass)



東京藝術大学音楽学部卒業。東京フィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者を経てウィーンに留学。オーストリア国営放送管弦楽団、同時にウィーン室内歌劇場オーケストラメンバー。室内楽奏者としてもウィーン、ザルツブルクを始めヨーロッパ各地の音楽祭に参加。帰国後1982年室内楽グループ「東京カンマーコレージェン」を結成。1996年CD「ウィーンはいつもウィーン」をリリース。現在、室内楽グループ「東京カンマーコレージェン」代表ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラメンバー。東邦音楽大学講師、学習院女子高等学校講師